

# いろは呑龍新聞第 27 号～平成 30 年 2 月号～

## いろは呑龍トンネル南幹線シールド工事の漏水対策に係る技術検討委員会

昨年 11 月 27 日に発生したいろは呑龍トンネル南幹線シールド工事で発生したトンネル内部への漏水及び土砂流入事故につきましては、発生原因と対策工法を検討し、有識者の意見を聴くため、「いろは呑龍トンネル南幹線シールド工事の漏水対策に係る技術検討委員会」（以下、技術検討委員会）を設置しました。

平成 30 年 2 月 19 日に第 1 回技術検討委員会を開催し、トンネル内部への漏水及び土砂流入、国道 171 号の道路陥没の発生状況、仮復旧工事（止水、道路復旧）の概要について説明を行うとともに、推定される発生原因と対策工法について、有識者である委員の方々から意見をいただきました。

### <委員>

(敬称略)

委員長	大西 有三	京都大学名誉教授
委員	三村 衛	京都大学大学院工学研究科教授
委員	久保 和幸	国土交通省国土技術政策総合研究所道路構造物研究部道路基盤研究室長
委員	矢野 知宏	地方共同法人日本下水道事業団近畿・中国総合事務所長

### <事故の概要について>

<http://www.pref.kyoto.jp/shingikai/mizukantai-03/kekka180219.html> で公開しております。

### <発生原因について、対策工法について（※）>

<http://www.pref.kyoto.jp/shingikai/mizukantai-03/kekka180219.html> で公開しております。

※発生原因及び対策予定工法は、企業が所有する技術情報を取り扱うため非公開の会議です。

### <今後の予定について>

現在、再凍結を実施し、地下水及び土砂流入箇所の調査に向けての準備作業を行っており、調査が完了した段階で、第 2 回技術検討委員会を開催する予定です。



写真：技術検討委員会の開催状況